



# あかまつ

令和4年度

第57号

令和5年1月30日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

《自然な味と甘みで食材そのまものおいしさを味わう》

## 全校で おやきづくり体験 1月25日(水)・27日(金)

ふるさとに伝わる昔ながらの郷土料理を全校みんなで体験しようと、「おやきづくり」を行いました。JA 秋田おばこ太田支店農産加工部会の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

秋田県南部では、12月8日を病焼き(やまいやき)の日として、各地で病を払う行事が行われています。「悪しきもの(病)を流す」意味合いで、焼き餅(おやき)を作り、そのうちの一つを真っ黒になるまで焼き、川に流すという習わしがあったようです。そして現在では、12月8日は焼き餅を食べ、一年間の無病息災を祈る日として定着しているようです。

しかしながら、そんな焼き餅(おやき)も自分の家で手作りしているという家はだんだんと減っているようで、子どもたちに手を挙げてもらったところ、各クラスで1~2名ずつという割合でした。

ほとんどが「初めて作る」という子どもたちでしたが、加工部会の皆様に教えていただき、餅粉を練った白い生地であんこを優しく包み、やけどに注意しながらホットプレートで焼きました。「どうやって包むの?」「どうして油を塗るの?」「色が変わってきた!」子どもたちにとって目にしたこと、気付いたこと、自分の手で作ったことすべてが体験であり、学びです。1個は学校で試食し、もう1個は持ち帰りました(あんこが苦手な子は2個持ち帰り)。教室で食べた温かい焼き餅(おやき)の味は格別!満面の笑みが教室中にあふれました。病(やまい)もふっとんでいくようでした。

さて、持ち帰った焼き餅(おやき)のゆくえはいかがだったでしょうか。自慢したあと自分で食べたか、あるいは家族にあげたか……。いずれにしろ楽しい思い出です。

加工部の皆様からは、「子どもたちとふれあえることは何よりの薬だ」「来てみたらすごく楽しくて、元気をもらえた」という感想をお聞きすることができました。学校が核となり地域が元気になる、そして学校も元気になるというコミュニティ・スクールのねらいそのものようにも思えました。来年度へと続け、そして広げたい活動がまた一つ増えました。



## 紙風船色つけ作業

今年は「第41回太田の火まつり」が2月4日(土)に行われるとのこと。3年ぶりの開催となります。「太田の火まつり」は太田町の伝承行事で五穀豊穡・無病息災を願う小正月行事です。学校でも、冬祭りの楽しさや地域のよさを味わってほしいとの願いから、今年も紙風船を作っています。低学年・中学年・高学年で一つずつの紙風船になる



ように、子どもたちは、全学年絵付け作業を体験しました。「何の絵にしようか。色はどうしようか。誰がどこを塗る?」というような話し合いが各クラスでもたれ、共同で色塗り作業をしました。

初挑戦の1年生も、色塗りをがんばりました。このあと各学年の絵を貼り合わせて、大きな紙風船が3つできあがる予定です。完成披露会は1月31日(火)に学校の体育館で行います。そしていよいよ2月4日は、みんなの紙風船が冬の夜空に空高く舞い上がる予定です。

## 5・6年スキー教室 26日（木）

先週の一回目の大台スキー場は、青空のまぶしいまさに白銀のゲレンデでしたが、26日（木）は時折風が吹く中の寒さの厳しい大台スキー場でした。でも、これも雪国ならではのこト。11時頃からは、点検のため止まっていた第2リフトも動くようになり、子どもたちは自分でスピードをコントロールしながら思い思いにシュプールを描きながら、スキーを楽しんでいました。指導者としてご協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

休憩場所がビジターハウスということもあり、荷物の移動などでも保護者の皆様にはご難儀をおかけしました。大変助かりました。ありがとうございました。

屋外ですから滑るときはマスクを外し、バスの中ではマスクを着用、そして、どうしてもマスクを外すことになる昼食時は学年で時間帯をずらして食べるようにするという対策をとりながらのスキー教室。コロナが2類から5類になるらしいというニュースが聞かれますが、来年のスキー教室はどうなるんだろうと心配でもあり、しかし、明るい希望が少し見え始めているこの頃でもあります。



# おめでとう!

2022年度  
県南フットサルフェスティバル  
U10

大仙 SC

4年 ○○○○ さん  
4年 ○○○○ さん

